

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 3月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の内容が一方的な報告に偏りがちである。地域とのつながりが薄い。	具体的な課題を、外部からの多様な意見を取り入れて解決することで、より地域とのつながりが深まるよう努めていく。	地域との交流促進に対する取り組みについて、具体的な案を長期的に会議の中で練っていく。委員の方々が利用者の状態や施設の現状を知る一つの機会として、定期的に防災訓練に参加してもらう。	6ヶ月
2	33	看取りはしない方針ではあるものの、実態としてグループホームで看取った事例が過去に数件あったことを考えると、いざという時の備えが不十分であると思われる。	看取りに関して職員が十分な知識を持ち、緊急時に落ち着いた対応ができるよう備えておく。	看取りに関する研修会への参加や、ミーティングにおいても話題に触れる機会を多く作り、日頃から知識を深めておく。利用者や家族に対して、延命処置の確認を定期的に行っていく。	6ヶ月
3	40	検食が行われておらず、食事についての意見がフィードバックされる機会がない。「食事を楽しむ」という事についての支援が弱い。	検食を開始すると共に、職員の意見や利用者の嗜好を献立に反映させていく。	ミーティングの中で、検食の感想や意見を述べてもらう。利用者や家族に嗜好について聞き取りを行う。食事の一部分を、好みの物や郷土料理、旬の食材を使用した物に差し替える機会を作る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。